

## 2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/3年次/3年次 : /3rd Year/3rd Year
課程等/Program	/高年次配当科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts for 3or4 years students/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月2 : /Mon.2

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121202			
科目番号 /Course Number	10160261			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	映画で学ぶ英語と文化 : Learning English and Cultures through Films			
担当教員名 / Instructor(s)	/(後藤 篤) : /GOTOH Atsushi			
その他/Other	インターンシップ実施 科目 /Internship	国際科学技術コース提供 科目 /IGP	PBL 実施科目 /Project Based Learning	DX 活用科目 /ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による 科目 /Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 /Objectives and Outline of the Course	
日	授業テーマ：映画で学ぶ英語とアメリカ文化 本講義ではアメリカ文学の映画翻案（アダプテーション）を取り上げながら、原作小説の講読および映画版の鑑賞を通じて、リーディングおよびリスニングを中心とする英語スキルを養います。授業内外での課題への取り組みを通じて、人種、エスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティ、地方性など、作品の背景となるアメリカの文化的事象についての知識と理解を深めます。
英	

学習の到達目標 /Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 /Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回	イントロダクション

	英		
2	日	第2回	『華麗なるギャツビー』①
	英		
3	日	第3回	『華麗なるギャツビー』②
	英		
4	日	第4回	『華麗なるギャツビー』③
	英		
5	日	第5回	『ティファニーで朝食を』①
	英		
6	日	第6回	『ティファニーで朝食を』②
	英		
7	日	第7回	『ティファニーで朝食を』③
	英		
8	日	第8回	中間テスト
	英		
9	日	第9回	『華氏 451』①
	英		
10	日	第10回	『華氏 451』②
	英		
11	日	第11回	『華氏 451』③
	英		
12	日	第12回	『その名にちなんで』①
	英		
13	日	第13回	『その名にちなんで』②
	英		
14	日	第14回	『その名にちなんで』③
	英		
15	日	第15回	授業のまとめ
	英		

## 履修条件 /Prerequisite(s)

日	授業外での課題への取り組みのために、DVD またはオンラインで映画を視聴できる環境を整えておくこと。
英	

## 授業時間外学習（予習・復習等） /Required study time, Preparation and review

日	授業外での課題への取り組みのために、DVD またはオンラインで映画を視聴できる環境を整えておくこと。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

## 教科書／参考書 /Textbooks/Reference Books

日	資料を配布する。
英	

## 成績評価の方法及び基準 /Grading Policy

日	期末レポート 50%、中間テスト 30%、授業参加度（授業中の発言など） 20% ※特段の理由がなく 5 回を超えて欠席した場合、原則として評価の対象としません。
英	

## 留意事項等 /Point to consider

日	受講者数など、状況に応じて授業計画を変更する場合がある。
英	

